

ホタテガイ採苗速報

西湾で大規模な産卵が始まりました

平成22年3月2日～5日に湾内8地点で母貝調査（養殖2年貝の生殖巣指数調査）を、平成22年3月9日に湾内9定点でホタテガイ等のラーバ予備調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイ母貝調査結果

今回の生殖巣指数は、西湾平均で17.7、東湾平均で21.5、全湾平均で19.6と、前回（西湾21.9、東湾24.0、全湾22.9）より減少しました（図1～3）。各地の測定結果は表1のとおりです。

2 ホタテガイ等ラーバ予備調査結果

3月9日のホタテガイラーバ出現数は、全湾平均で2,747個/トンとなっています。

ムラサキガイのラーバ出現数の全湾平均値は、111個/トンと、昨年同期（3月9日）調査時（171個/トン）より少ない状況でしたが、キヌマトイガイは1,010個/トンと、昨年同期（653個/トン）より多い値でした。

3 海況

3月6日～9日の陸奥湾の水温は平館ブイで7.3～8.0℃、青森ブイで6.6～7.0℃、東湾ブイで4.3～5.0℃で、平館ブイの全層で平年並み、青森ブイの1m層～30m層でやや高め、底層で平年並み、東湾ブイの1m層～30m層で平年並み、底層でやや高めとなっています。

4 今後の見込み

西湾、東湾ともに順調に産卵が進んでいます。今後、水温の上昇とともに、産卵がさらに進みますので、産卵の状況および採苗器投入時期については今後の情報を参考にしてください。

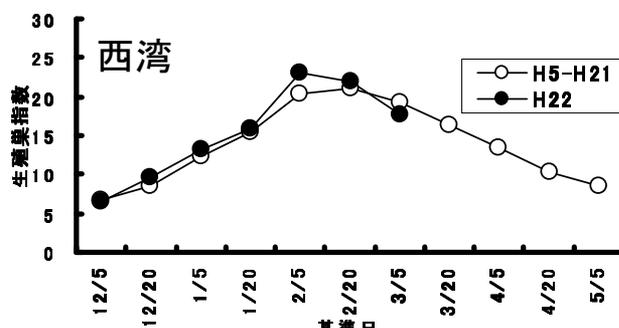


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(西湾平均)

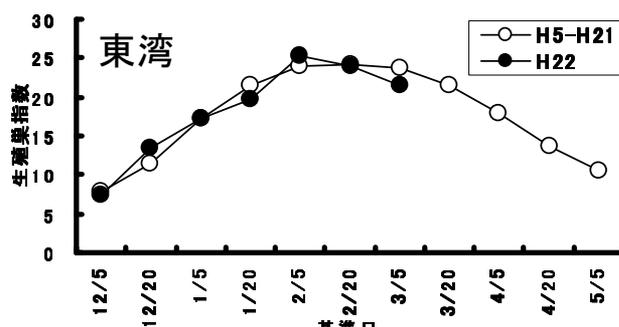


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(東湾平均)

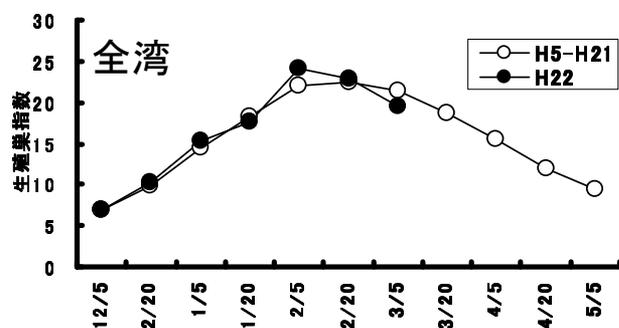


図3 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(全湾平均)

表1 各地の測定結果(調査基準日 3月5日)

	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部 重量(g)	軟体部 指数	生殖巣 重量(g)	生殖巣 指数
蓬田村	3月5日	11.3	141.6	53.1	37.5	8.1	14.9 (20.3)
青森市奥内	3月5日	10.9	144.0	54.1	37.6	9.3	17.0 (22.8)
久栗坂実験漁場	3月2日	12.1	194.5	75.9	39.0	14.8	19.4 (22.4)
平内町土屋	3月4日	10.9	141.1	61.7	43.7	12.0	19.5 (22.1)
西湾平均		11.3	155.3	61.2	39.5	11.1	17.7 (21.9)
野辺地町	3月5日	12.0	194.2	82.0	42.2	18.0	22.0 (25.5)
むつ市	3月2日	10.3	131.2	61.0	46.5	14.4	23.5 (24.7)
川内町	3月2日	10.7	129.7	61.3	47.3	12.6	20.7 (23.0)
川内実験漁場	3月4日	11.7	171.2	78.0	45.6	15.3	19.6 (22.7)
東湾平均		11.2	156.6	70.6	45.4	15.1	21.5 (24.0)
全湾平均		11.2	155.9	65.9	42.4	13.1	19.6 (22.9)

(): 前回の生殖巣指数

広がる海の知識！
身につける新たな技術！ 漁業後継者育成研修 『賓陽塾』
塾生募集中！！ 詳しくは水産総合研究所 ほたて貝部まで

発行元：地方独立行政法人
青森県産業技術センター 水産総合研究所
住所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10
TEL：017-755-2155 FAX：017-755-2156
ホームページURL：http://www.aomori-itc.or.jp/
携帯電話URL：http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2224

